

# テーマ3 公共施設の多様な利用

## 国道の除雪ステーション等を活用した地域振興

【背景】消費者に生産者の顔が見える産直販売の取り組みの広がり

【ねらい】国道沿いの駐車場(公共施設)を地元農家の直売所スペースとして活用することにより、地域の活性化を支援



### 展開イメージ

地産地消の取組等を背景に、新鮮で安価な農産物等を手にすることができる直売所は、消費者からも注目されています。

峠のふもとの国道には除雪ステーションなどの冬期間にだけ利用される公共施設が設けられていますが、北海道開発局はこれらの公共施設を地域の方々に有効活用していただき、施設の多面的な活用を図ることを通じて地域振興に貢献します。

平成17年度は、国道の除雪ステーションを活用した直売所の設置の試行期間を長期間で実施するとともに、取組をさらに広げていくため道路施設の占有に係る運用ルールの検討を進めます。

### これまでの取り組み

平成16年度には、旭川市内の除雪ステーションを活用した直売所の試行を行いました。

このような地域振興の活動の場としての道路空間の活用への期待の高まりを背景に、平成17年3月に「道を活用した地域活動の円滑化のためのガイドライン」が策定されたことから、交通の安全確保の課題等を検討しながら取組の拡大に務めます。

# テーマ3 公共施設の多様な利用

## 石狩川愛別頭首工を地域のシンボル空間に

【背景】石狩川愛別頭首工が平成19年度に完成

【ねらい】国道39号線に隣接し、愛別町の公園に近接する頭首工の管理棟などを活用した地域の活性化を支援

頭首工完成イメージ(右岸側に愛別町公園の整備を計画)



魚類生息に配慮して、魚道を設置しています

地域の方々にも活用していただく管理棟

### これまでの取り組み

石狩川愛別頭首工は、愛別町、比布町、旭川市、鷹栖町の約3,300haの水田の農業用水を取水する施設として、平成19年度完成を目指しています。

農村環境・景観プロジェクト会議(愛別町)などの場で、新しい頭首工を活用した周辺整備のあり方について話し合われています。

### 展開イメージ

石狩川愛別頭首工の周辺整備では、

管理棟の整備に当たって、駐車場、トイレの位置に配慮するとともに、管理棟を開放し、案内板を設置するなど、教育機能と公園利用者の利便性を高めることが検討されています。

また、国道39号線沿いの公園へのアクセスに配慮した道路整備(歩道)も行う予定です。

平成17年度は、地域の方々の意見を聞きながら愛別町が中心となって公園構想を検討し、旭川開発建設部では、その構想への支援として、残土活用や管理棟周辺の整備について検討を行っています。

# テーマ3 公共施設の多様な利用

## 河川広報施設を活用した地域交流とネットワークの形成

～川のミュージアムネットワーク～

【背景】 地域の連携・交流を促進する河川管理施設の活用要望。

【ねらい】 地域と協働し、環境教育や川と地域の歴史・文化を伝承する場として活用する。



永山新川で遊ぶ子供達



さららで開催されたコンサート

### これまでの経緯

- ・平成16年3月 川のふるさと交流館さらら完成。
- ・平成16年4月 オープニングイベントの開催。
- ・平成16年7月 河川愛護イベントの一環として「ラブリバーin永山新川」を地域NPO等と協働して開催。
- ・平成16年10月 「秋の永山新川まつり」開催。
- ・平成16年10月 「さらら」を核とした「ながやま子どもの水辺協議会」を発足。
- ・平成17年1月 石狩川流域における各河川広報施設の連携利用について意見交換会を実施。
- ・平成17年3月 石狩川・川のミュージアムネットワーク発行。

### 展開イメージ

北海道開発局と関係自治体及び市民団体等と協働して取り組みます。

#### 取り組み概要

- ・相互に特色のある展示ソフト等を交換しあったり、館内に共通のPRコーナーを設けるなど、連携効果を生かした展示施設の改善検討。
- ・地域関係者と連携して地域交流を推進するとともに、川と地域の歴史・環境を学ぶ場としても活用されるよう整備と広報を行います。

#### 今後の展開

- ・石狩川流域内の各河川広報施設の利用促進を図るため、周辺その他施設や地域関係者とも連携したネットワークの形成に取り組みます。
- ・流域の多面的な魅力にふれてもらえるようスタンプラリーを実施します。